

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック「ロータリーのマジック」

2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」

2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2428回 例会

2025-5-14

第2427回移動例会 5月10日(土)の志木市・親と子の市内まるごとクリーン作戦 Part.1～志木市の大そうじ～は、悪天候により中止となりました

◎司会 國分 学 副会長

◎点鐘 三上 隆俊 会長

◎ソング 君が代・奉仕の理想

◎ソングリーダー 木下 哲男 副SAA

◎四つのテスト 木下 哲男 副SAA

◎ビジター 第2グループガバナー補佐
島田 敏郎様 (富士見 RC)

第2グループ次年度ガバナー補佐
大畑 茂様 (朝霞 RC)

地区国際大会推進委員会

長根 章浩様 (富士見 RC)

「会長挨拶」

会長 三上隆俊



皆様こんにちは。本日も多くの会員の皆様にご出席をいただきまして有難うございます。

先ず、日頃より第2グループの各クラブ会長幹事の親睦をはかっていただき、事業をけん引され、お世話になっております、第2グループガバナー補佐、富士見クラブ会員の島田敏郎様。ご多忙中の所、ようこそおいで下

さいました。そして、次年度、同グループガバナー補佐を務められる、朝霞クラブ会員の大畑茂様。今後のご活躍をお祈り申し上げます。長根様もようこそおいで下さいました。

さて、ロータリー全体としましては「ロータリーの友」にも記されていますが、今月は「青少年奉仕月間」であります。今月の志木クラブの活動を見ますと、10日に残念ながら中止となりましたが「志木市川と街をきれいにする運動」、28日に「献血」の社会奉仕活動があり、そして、本日の卓話は、「社会奉仕」の西川委員長から、「青少年奉仕」の「ロータリー希望の風」についてのお話しで、正に、「社会奉仕」「青少年奉仕」を融合した様相であります。皆様と共に、今月も奉仕活動に邁進してまいりましょう。

この会場を利用させていただく例会は今回は今回のみとなります。従いまして、内容も盛りだくさんとなりますので、甚だ簡単ではありますが、以上、会長挨拶とさせていただきます。

「理事会報告」(5/14分) 会長 三上隆俊

1) 親睦旅行収支報告書の件

親睦旅行(職場見学含む)4/6～4/7の収支決算書が親睦活動委員長より提出され、会長より報告後、承認された。

2) 新会員候補者の件

会員候補者推薦書について承認。職業分類・会員選考委員会より審査報告書が提出され、了承された。

3) 原孝一会員の件

原孝一会員より退会申出の提出があり、今

5 月 は 「 青 少 年 奉 仕 月 間 」 です

年度をもって退会する旨の報告があった。
申出を受理するものとする。

- 4) 5 月第 1 例会「志木市・川と街をきれいに
にする運動」中止に伴う件
5/10「志木市・川と街をきれいに
する運動」
が雨の為、例会も中止となり、全会員出席
扱いとする。
- 5) 第 65 回志木市商工会通常総代会の懇親
会案内の件
会長が出席。会費として 5,000 円支出。

「幹事報告」

幹事 田中幸彦

1. 国際ロータリー日本事務局より 3 件受信
 - ①5 月のレート\$1=¥142
 - ②大船渡大規模山林火災支援金に対する礼状
 - ③青少年奉仕月間リソース案内
 2. 地区事務所より 4 件受信
 - ①2025-26 年度第 1 回会員増強セミナー開催案内
 - ②国際共同委員会加盟に関して
 - ③2024～25 年度年度末地区役員合同会議開催案内日時：6 月 28 日(土) 16:00～18:00
場所：熊谷スポーツホテル PARK WING
 - ④第 2570 地区地区グループ再編成について
3. (公財) ロータリー米山記念奨学会より米
山功労クラブ感謝状送付の件受信
4. 志木市コミュニティ協議会より令和 7 年
度志木市コミュニティ協議会定期総会及び
構成団体交流会通知受信
日時：5 月 22 日(木)
場所：志木市総合福祉センター ホール
5. 志木市コミュニティ協議会会費納入依頼
6. 志木市商工会より第 65 回通常総代会の
懇親会案内受信
日時：5 月 21 日(水) 17:30
会場：志木市市民会館仮設会議室 1.2.3.4
7. (公財) 埼玉県腎・アイバンク協会より第
36 回総会案内
8. バギオだより 2025 年 5 月号 Vol.108
9. 志木市青少年育成会議だよりについて受
信

「ご挨拶」

地区第 2 グループ ガバナー補佐 島田敏郎様



地区第 2 グループ ガバナー補佐エレクト 大畑 茂様



「米山功労者表彰伝達」

会長 三上隆俊



小泉市朗会員(5 回)、遠藤貴博会員(3 回)、
榎本秀夫会員(2 回)、古田征也会員(2 回)、
米山功労クラブ: 志木 RC

「今月の誕生日祝」

親睦活動委員 戸國大介

- | | |
|-------------|-------------|
| 5 日 岩下正基会員 | 18 日 木下哲男会員 |
| 19 日 神山昌之会員 | 19 日 榎本秀夫会員 |
| 22 日 坂間智子会員 | 26 日 吉原 正会員 |
| 30 日 戸國大介会員 | |

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■朝霞RC 毎週(火) 12:30～ 埼玉りそな銀行朝霞支店

■新座RC 毎週(木) 12:30～ ベルセゾン

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)

事務局 048-466-3770

事務局 048-473-7041



「誕生日スピーチ」

神山昌之 会員

81 歳にもうすぐなります。ここまで生きてきたので、後は余禄の人生ですからどうってことないなと思っております。よろしく。(談)

『ロータリーの友』記事紹介

雑誌委員会 委員 深澤好文

『ロータリーの友』5月号記事紹介

【縦組】

P4～8 「企業・組織におけるメンタルヘルス

はなぜ大事か」 東京大学名誉教授川上憲人

P20 「あるある相談室」

「卓 話」

「ロータリー希望の風について」

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

志木事務局 西川 和人



本日は、貴重な例会のお時間をいただき、「ロータリー希望の風」のお話をさせていただく機会をくださいませ、誠にありがとうございます。新会員の方々へ、ロータリー希望の風奨学金のことをよく知っていただくために本日はお話をさせていただきます。志木クラブの皆様には十分ご理解をいただい

ておりますので、本日のお話がこれまでと重複してしまうかもしれませんが何卒ご了承くださいませ。

改めまして、皆様には日頃より希望の風奨学金への多大なるご支援を賜りましてこの場をお借りして心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。スライド1

ロータリー希望の風奨学金は東日本大震災で両親もしくはひとり親を失った遺児で大学（短大を含む）専門学校に学ぶ方へ入学から卒業まで毎月 5 万円を継続して給付し、返還を求めない奨学金です。このプログラムも開始から 14 年、つまり、あの震災から 14 年が経過しました。東日本大震災当時 0 歳だった子どもも対象としているため、その子どもたちが大学を卒業するまで、最短で 22 年間（2033 年、令和 15 年まで）継続するプログラムです。

ロータリー希望の風奨学金プログラムの始まりの経緯をお話したいと存じます。スライド2

東日本大震災が発生した 2011 年 3 月末より当時のガバナー会では、各地区、クラブ、個人より集まった義援金・支援金の使い方を検討する際に、ロータリーが日本に入ってから 1923 年の関東大震災の時の話や長岡藩の「米百俵」の話などを参考にしながら支援の方法を協議したと伺っております。

関東大震災の折り、国際ロータリーをはじめ、アメリカ、イギリス等世界中のロータリアンから合計で 8 万 9000 ドルの支援金が東京ロータリークラブに届けられました。それをどのように役立てるかクラブ内で検討され、孤児院の建設、焼失した学校に対する黒板・日本地図・世界地図・大型算盤の寄贈、殉職警察官遺族への寄贈が実行されました。

また、江戸末期から明治の初めの戊辰戦争で敗れ焦土と化した長岡のまちに、支藩である三根山藩(みねやまはん)から見舞いとして贈られた米百俵を長岡藩大参事（現在で言うところの副知事）の小林虎三郎(こばやしとらさぶろう)は藩士に分配せずに、米を売りのその代金を国漢学校(こっかんがっこう)設立資

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■和光RC 毎週(月) 12:30～ うけら庵

■富士見RC 毎週(金) 12:30～ 島田ビル1F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)

事務局 048-455-0088

事務局 049-251-6596

2428-3◇

志木 RC 会報

金の一部に充てたと言われています。「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と反対する藩士を論じたとされています。スライド 3

ガバナー会と当時組織された東日本大震災支援委員会（使途検討委員会）ではロータリーらしい支援の方法は何かを検討した結果、被災遺児への奨学金とすることとし、被災地域が多地区にわたることからオール日本として取り組もうと言うこととなります。その中で生まれた「ロータリー希望の風奨学金」は被災遺児に対する教育支援プログラムとしてスタートいたします。しかしながら、地区ごとに様々な考えがあり、結果として残念ながらオール日本としての取り組みは叶いませんでしたが、国内 10 地区国外 1 地区の合同プログラムとして義援金 3 億円を持ち寄り、2011 年 11 月にスタート、すぐに奨学生の募集を開始、このプログラムは比較的早く軌道に乗りました。

各被災県の教育委員会から各自治体教育委員会、そして各公立、私立高等学校長へ奨学金情報が伝わり、順調に申請者は増加していきました。その後、12 地区、15 地区と支援の輪が広がり、現在では 27 地区となっておりますが、協議会としては支援地区・非支援地区の枠を外し、多くの方々にご支援をお願いすることにしております。

また、スタート時点での協議会委員は、震災当時の 2010-11 年度ガバナーを中心に構成され、2014 年 7 月の総会にて規約改正を行い長期にわたる取り組みを人的に可能にするため、新体制で臨むこととなります。委員数を増加させ、役員の改選が行われました。その後も状況に応じて規約の見直しや新たな委員の選任を行っています。私は 2019 年第 10 期より委員をつとめ、翌 11 期より会計職を仰せつかっております。現在第 2570 地区からは、協議会顧問の富士見 RC の坂本元彦 PDG、副会長の本庄 RC 矢島淳一さん、委員の東松山むさし RC の野口健一さんの 4 名が務めております。

震災から 14 年が経過しますが、現在も多

くの支援が寄せられ、クラブ単位の支援も増え、会員個人やそのご家族の方々、法人様からも支援の手が差し伸べられております。

ちなみに、今年度 2024 年 7 月から 2025 年 4 月末までの支援金の実績は約 4400 万円です。

これまでのご支援をいただいた方々については協議会のホームページに掲載しております。ご覧になっていない方はグーグルにて「ロータリー希望の風奨学金」を検索していただきご覧いただけましたら幸いです。

ご参考までに志木 RC からのご支援はこれまで 177 回のお振込みをいただきました。

2570 地区では断トツ 1 位のご支援となっております。

続いて奨学生の実態のご報告をさせていただきます。奨学生には毎年 4 月の入学・進級時に新年度の在学証明書の提出を求めています。4 月分の奨学金は新規の在学証明書が当協議会へ提出されてから送金しております。

私は会計職として、毎週火曜日に、皆様から送金いただくご支援金の入金確認作業、お礼状、領収証の発行、郵送手続き、そして、毎月奨学生へ奨学金の振込手続きをしております。毎年 4 月 5 月は在学証明書の確認と、新入学、継続、卒業生の確認でとても時間がとられます。しかしながら、送られてくる奨学生の在学証明書を拝見し、実際に通っている学校名や学部等を確認することが出来ます。

被災された子ども達が自らの夢の実現のため学業に向かう姿を想像し、このプログラムが奨学生にとって有意義で大切なプログラムであることを実感できます。現在支給対象の学生の皆様は震災当時小学 1.2 年生、または幼稚園児・保育園児だった方々です。震災を経験し、未だ暗い闇を抱える遺児やその家庭に寄り添い、いつでもそっと遺児たちの背中を押す風であり続けたいという想いを込め、未来ある若者たちへの支援を強い使命感をもって会計職を務めております。

今日現在では 82 名の奨学生に、皆様から頂いたご支援金を奨学金として送金しております。

単純計算で、月額 5 万円を 82 名に送金と

なりますので、毎月 410 万円、年間で 4920 万円となります。スライド 4

2011 年 11 月のプログラム開始以来の奨学生の総数は 587 名、このうち昨年 3 月までに卒業された奨学生は 406 人となります。ですが、様々な要因で、休学したり、退学したり、卒業まで支援が叶わない学生もおります。

スライド 5

皆様からいただくご支援金と奨学金の実績としては、開始当時の資金と 2011 年 12 月から 2024 年 6 月末までのご支援金は総額 11 億 6690 万円となります。(資料 2)、ちなみに、第 2570 地区のご支援金は昨年度第 14 期 540 万 9689 円、第 13 期と比較し、1698 千円の増加となります。開始時の資金と今までのご支援金合計額は 8520 万 9081 円となります。志木ロータリークラブの皆様からは毎回の例会時に広くご支援をいただきおり、毎月瀧澤さんからまとめてお振込みをいただいております。今申しあげました金額には志木ロータリー皆様からのご支援金を含んでおります。

また、志木 RC では、直接協議会の口座へ毎年まとまったご支援金をお振込みいただく会員の方もいらっしゃいます。本当にありがとうございますことです。

また、資料 3 をご覧くださいませ。昨年度の収支計算ですが、昨年 2023 年 7 月から今年 2024 年 6 月末までの 1 年間で給付した奨学金は総額 5410 万円となっております。支出経費（協議会での経費）は通信費、感謝状ホルダー、礼状台紙、ウェブ経費など約 38 万円となり、経費率は支出の 0.7%となります。

お気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、奨学生への支援金は振込ですが、その手数料は実は千葉銀行様より免除いただいております。単純計算で毎月の振込手数料としては奨学生 82 名に対して約 4 万 5 千円かかる計算です。

こちらは、2010 - 11 年度第 2790 地区ガバナーの故織田吉郎様のご尽力により、千葉銀行への働きかけの結果です。銀行には活動の趣旨をご理解いただいていることも、このプログラムを継続させるための力となっております。

ります。

資料 4 をご覧ください。今後の見通しと対応としては、被災 3 県（岩手・宮城・福島）の年度別出生率と年度別奨学生比率から支給対象となる奨学生数を予想で算出すると、今後の予想奨学生数は 811 人、必要となる金額は推定 5 億 3370 万円となります。昨年 6 月 30 日（14 期末）の資金残高 2 億 3416 万円を差し引いても今後必要な資金は 2 億 9953 万円となります。

スライド 6

お寄せいただける支援金はここ 5 年で年約 4000 万円程度となるため現状を維持できれば 23 期までプログラムの継続が見込める状況となりました。これも一重に皆様のおかげだと改めて感謝申し上げます。

ですが、今後も安定したご支援が続く確証はございません。

今後のご支援の状況によっては、厳しい判断をせざるを得ない時が訪れるかも知れませんが、私たちは震災直後に芽生えた想いを最後までつなぎたいと強く思っております。

ロータリー希望の風奨学金」を最終年度まで継続出来ますように今後ともさらなるご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

毎月の収支のご報告は、例会時に皆様にお配りしております「風の便り」をご参考いただけましたら幸いです。

今後も皆様には当プログラムへ寄り添っていただき、最後まであたたかなご支援を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

皆様、ご清聴くださいまして誠にありがとうございました。

●出席報告 出席 副委員長 山村昭康
会員数50名 出席義務者48名 免除者2名
本日出席 本日欠席 本日出席率
41名 9名 83. 67%
前々回 MU 前々回修正出席率 平均出席率
(7名中0名) 86. 00% 81. 26%